

特ラ機構レポート

No.190

令和5年1月1日

新年の挨拶	2
令和4年度 第4回 理事会 報告	3
運用連絡と調整の総件数	9
イベント報告	11
新規加入会員紹介コーナー	12
イベント情報	14
地上デジタル放送の高度化（4K・8K）に向けた 電波発射について ..	16
Inter BEE 2022 報告	17
ちょっとブレイク	21
事務局員年頭挨拶	26
重要なお知らせ	27
事務局便り	28



新春のご挨拶

(一社)特定ラジオマイク運用調整機構
理事長 渡邊 邦男

明けましておめでとうございます。

皆さまお変わりなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、世界中をパンデミックに陥れた新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した諸々の経済への打撃など、数えればきりがなほの困難に見舞われた一年でしたが、サッカーワールドカップでの日本代表の活躍に力を貰った方も大勢いたことと思います。

今年の干支は「癸卯（みずのとう）」。「干支」とは十干と十二支の組合せのことで、「十干」は、甲（きのえ）・乙（きのと）・丙（ひのえ）・丁（ひのと）・戊（つちのえ）・己（つちのと）・庚（かのえ）・辛（かのと）・壬（みずのえ）・癸（みずのと）からなり、十二支は皆さまがご存じの動物達のことです。この「干」と「支」の組み合わせは 60 年周期で繰り返されるため六十干支とも云われ、これが一巡すると還暦になります。

古代中国では「陰」と「陽」の2つの要素に分けられる「陰陽説」と、「木（春）」「火（夏）」「土（季節の変わり目）」「金（秋）」「水（冬）」の5つの要素からなる「五行説」という思想があり、のちにこれらを組み合わせて創られた「陰陽五行説」に「十干」を当てはめるようになったそうです。

日本では陽を兄、陰を弟として、例えば「甲」を「木の兄（きのえ）」、「乙」を「木の弟（きのと）」などと書き表します。

今年の十干は「癸（みずのと）」なので、芽吹いた草花が成長し大きくなる時を待っていることを示しています。また、十二支の「卯（う）」は跳びはねることから、飛躍する年になるとも云われています。良い年になること期待しています。

特ラ機構では、「TV ホワイトスペース帯と専用帯の有効利用について」総務省のご指導のもと、チャンネルリストの改定なども視野に入れて各方面への働き掛けと協力体制を維持し、会員の皆さまへの情報提供に努めてまいります。また、「コロナ禍の影響による会員への支援策」を 2020 年度から三期に渡り実施しております。

運用連絡もコロナ禍以前に戻りつつある現在、2025 年4月に開催される大阪・関西万博も含め、文化・芸術・スポーツなど特定ラジオマイクを利用するすべてのイベント等について、感染症対策で変化した環境を整理し、公平で安全・安心な運用が継続できる体制を堅持し、会員の皆さまと共にさらなる高みを目指して邁進していく所存です。

最後に 2023 年が皆さまにとって素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和5年 元旦



[理事会報告] 令和4年度 第4回理事会

1. 日 時 令和4年 12 月 7 日(水) 15 時～ 17 時
2. 出席者 (理事長・理事・監事総数 22 名)
 出席 [理事長] 渡邊邦男
 [理 事] 池上行大, 石橋 透, 大塚 豊, 小野良行, 金光浩昭, 小林 敬,
 小間新五, 鈴木久利, 西澤勝之, 右田研介
 [監 事] 伊藤 博, 國枝義久
 委任出席 [理 事] 岩井佳明, 上田好生, 小俣公洋, 北口紀雄, 瀬谷正夫, 則行正信,
 萩原桂吾, 本間俊哉, 吉田廣嗣

3. 令和 4 年度 第 4 回理事会 開催挨拶

皆さま、本日はお集まりいただき、ありがとうございます。

世の中はまだ油断ならない状況が続いていますが、カタールワールドカップでは希望をもらいました。日本チームは悲願のベスト8には届きませんでしたが、決勝トーナメント進出には国内外から称賛の声が寄せられていました。120 分戦ったあとに PK 戦で勝敗を決するのは残酷だとも思いますが、そこにキッカーとキーパーのドラマが見えました。

近年はサッカーやラグビーで審判団がグラウンドと VAR (ビデオ・アシスタント・レフリー) や TMO (テレビジョン・マッチ・オフィシャル) とのやり取りなどで、ワイヤレスマイクシステムなどを使用しているので、そのことにも注目して観ています。

それでは令和4年度第4回理事会を開催します。

渡邊理事長から以上の挨拶があり、第4回理事会が開会した。

4. 議 題

【報告事項】

(1) 運用連絡と調整の近況について 別紙資料にて説明 ((理事会資料: 9 ～ 11 頁))

a. 運用連絡数の推移 b. イベント報告 c. 干渉報告

(2) 各委員会報告

① 賛助委員会

今期の開催はなかった。

② 技術委員会

今期、技術委員会の開催はなかったが、小川技術委員長(ソニー株式会社) とは E メール等で連絡を取り合い、今後の対応などを協議した。

③ 特ラ機構 技術賞委員会

第 23 回特ラ機構技術賞の募集について、令和4年 11 月1日(火) 発行の『特ラ機構レポート 189 号』に募集案内を掲載・同封した。その他、特ラ機構 Web サイト・Twitter でも告知をおこなった。

④ 編集委員会 特ラ機構レポート

189号は、令和4年11月10日(木)に発送済。190号については、令和4年12月下旬に発送予定となっている。内容は、新年号なので理事長、事務局メンバーの新年挨拶文、理事会報告、新規加入会員紹介、Inter BEE2022 報告記事などを掲載予定。

第94回編集委員会は、令和4年11月14日(月)に当機構事務局にて開催した。出席者は4名。189号を振り返って反省点等を確認した他、190号への掲載記事の検討、記事作成分担をおこなった。

(3) 総務省関係、ARIB関連の報告

① 総務省関連

令和4年11月2日(水)、9日(水)、28日(月)、総務省 総合通信基盤局電波部移動通信課 久岡氏より新型コロナウイルス感染症対策などに関する政府方針をご案内頂き、当機構 Web サイトなどで告知に努めた。

② 各総合通信局関連

◆免許申請

電波利用料の改訂について

電波利用料は、総務省が3年以内ごとに見直しをおこなっている。令和4年はその年にあたり、令和4年10月1日(土)、特定ラジオマイクに関する電波利用料も改訂された(表1参照)。

なお、各会員への告知として、『特ラ機構レポート189号』送付の際に告知文を同封したほか、当機構 Web サイトにも告知文を掲載している。

◆チャンネルリスト申請

令和4年10月7日(金)、総務省 関東総合通信局ならびに東海、近畿、九州各総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は令和4年10月27日(木)に運用調整システムへの登録を完了した。

令和4年11月9日(水)、総務省 関東総合通信局ならびに北海道総合通信局を通じて、TVWS チャンネルリストの新規検討を申請した。

同、新規件名は令和4年11月29日(火)に運用調整システムへの登録を完了した。

表1

周波数帯	改定前の利用料	改定後の利用料
TVWS 帯 (470 ~ 710MHz)	400 円	400 円
特定ラジオマイク専用帯 (710 ~ 714MHz)	400 円	400 円
TVWS 帯+特定ラジオマイク専用帯 (470 ~ 714MHz)	900 円	700 円
1.2GHz 帯 (1240 ~ 1252MHz、1253 ~ 1260MHz)	900 円	700 円

※1局あたりの料額です

⇒ 以上の報告事項について質問を受け付けたが、特になかった。

③ ARIB関連

今期、関連会議等の開催はなかった。

(4) TV ホワイトスペース等利用システム運用調整協議会

① 統合DB作業班

今期、関連会議等の開催はなかった。

② 幹事会

今期、幹事会の開催はなかった。

③ WS協議会負担金の支払い状況

令和4年度のWS協議会負担金（既存会員分の運用調整費）について、WS協議会側と確認作業を完了し、合計 24,343,725 円となった。

また、令和4年度第1～2四半期のWS協議会負担金（新規分の登録費・運用調整費）についてもWS協議会側と確認作業を完了し、第1四半期が合計 239,275 円、第2四半期が合計 304,500 円となった。

それぞれについて、令和4年10月26日(水)に支払い済みとなっている。

(5) 情報通信月間協議会報告

令和4年11月17日(木)、Web会議にて第3回運営連絡会が開かれた。

主な議題として、以下の4項目について報告や審議があり、すべてについて承認された。

1. 「2022年度情報通信月間行事実施状況報告」
2. 「2022年度情報通信月間推進協議会決算（見込み）」
3. 「2023年度情報通信月間推進協議会行事実施計画（案）」
4. 「2023年度情報通信月間推進協議会予算（案）」

(6) 令和5年度の再免許手続き

令和4年11月16日(水)、再免許対象会員（204会員）へ関係書類の発送をおこなった。必要書類の返送の締め切りは令和4年12月5日(月)となっており、現在までのところ、7割程度の対象会員から返送されている。未着の対象会員については、個別に連絡をとって対応している。

(7) 地上4K・8Kデジタル放送の実験試験局運用について

令和4年2月以降の実験スケジュールを、当機構WebサイトおよびTwitterで告知した。今後も実験スケジュールが確定し次第、告知をおこなう。

(8) 短信、その他

① Webサイト更新

今期分のチャンネルリスト検索システム等の定期更新をおこなった。

また、Twitterにて電波利用料改定のお知らせ等、各種の告知をおこなった。

② チャンネルリストの追加

GORILLA HALL OSAKA, 神戸市西神中央ホール, SAGA サンライズパークアリーナ,
磐田市民文化会館かたりあ, 汐留ビルディング, 京浜島 234 スタジオ,
ES CON FIELD HOKKAIDO

計8施設

③ **チャンネルリストの変更修正**（令和4年10月1日～11月30日）

下北沢 GARDEN ⇒ 下北沢シャングリラ

デユース札幌 ⇒ SPiCE SAPPORO

高槻現代劇場 ⇒ （仮称）高槻城公園

メットライフドーム（西武ドーム）⇒ ベルーナドーム（西武ドーム）

徳山大学 ⇒ 周南公立大学

アミューズカフェシアター ⇒ 浅草 VAMPKIN

ル・センティフォーリア ⇒ カサ・デ・アンジェラ大阪迎賓館

④ **「TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会」**

令和4年10月17日(月)、TVWS 帯特定ラジオマイクの利用効率向上に関する調査検討会の第1回目 Web 会議が開催された。

⇒以上の報告事項について出席理事全員の承認があった。

5. 【審議事項】

（1）会員の入退会 令和4年10月～11月分

【入 会】

関 東：田中 博信，株式会社コギトワークス，株式会社 K.M.D Sound Design，
宇都宮駅東口交流拠点施設運営共同事業体 代表者 株式会社五光
代表取締役 木内久生（ライトキューブ宇都宮），
安川 恵一，株式会社 DrunkenBird

九 州：田上 敏浩，寺崎 誠秀

【退 会】

関 東：株式会社 DHC テレビジョン（DHC SHIBUYA STUDIO）

（2）会員数

令和4年11月末現在 1,539 会員

（3）無線局数

令和4年11月末現在 47,539 局

〈内 訳〉

① **470 ～ 714MHz 帯**

ラジオマイク 35,045 局

イヤモニ 2,537 局

② **1.2GHz 帯**

ラジオマイク 9,957 局

合 計 47,539 局

(4) JPPA AWARDS 2023 後援名義使用許可依頼について

一般社団法人日本ポストプロダクション協会より「JPPA AWARDS 2023」への後援名義使用の承認依頼があり、慣例をもって承認した。

⇒ 以上の審議事項について、出席理事全員の承認があった。

【その他、意見交換や近況報告など】

- ・音響サービスの部門は通常に戻りつつあるが、販売の部門は円安のあおりを受けている。TVWS 帯はこれから再び動きがあるのだろうか。特定ラジオマイクはエンターテインメントの舞台では必須の存在。これからも理事会を大切にして参加したい。
- ・仕事は通常に戻ってきている。昔はワイヤレスマイクを同時に使用できる波数は限られていたが、今では教室を使ったドラマなどで 44 波も同時使用している。時代は変わったものだと感じている。
- ・映画の録音をやっている知人を特ラ機構技術賞へ推薦しようかと考えており、先日、その知人からワイヤレスマイクの装着やブームマイクとの音色合わせなど、苦労話をあれこれと聞いた。
- ・10月～11月にかけて、仕事の件数としては通常に戻ってきている。舞台やライブの現場で、PCR 検査に引っかかるスタッフはまだまだ出ている。そのため、シフトを組んでいるスタッフは忙しくしている。一方、働き方改革も始まっており、勤怠の管理が大変である。インボイス制度などの対応もあってバタバタしている。
- ・日本舞台音響事業協同組合の3年ぶりの研修会をおこなった。インボイス制度やコンプライアンスに関する研修、パネルディスカッションなど充実した内容となった。これからも音響業界の地位向上へ努めていきたい。近々の課題としては、舞台機構調整技能士1、2級の受検者が減っているという問題がある。また、ワイヤレスマイクやイヤモニのチャンネルセッティングをはじめとする、チャンネルプランの仕事が重要になってきている。数年前から議題にも上がっている、チャンネルプランのライセンス制度を目指した講習会を実施してはどうか。ライセンスがあった方が活動しやすいと思う。
- ・名古屋では1,500～2,000人規模の劇場の多くが老朽化している。築50年を経過した名古屋市民会館の建て替えも検討されているが、建て替えには5年ほどかかる。その間、イベントや市民による発表会の場がなくなることはもちろん、指定管理をおこなう私たちの職場もなくなってしまう。名古屋国際会議場を改修した後、名古屋市民会館を建て替えることも考えられている。建て替えにあたってPFIの活用も考慮されているが、建材価格の高騰などもあって、なかなか前に進んでいない。公演の“名古屋飛ばし”なんてことが起きないようにしていきたい。

- ・昔、音響プランナーの免許制について提案したこともあるが、「(免許がなくても) 今、仕事ができているからいいじゃないか」と取りあってもらえなかった経緯がある。国家検定試験の舞台機構調整技能士(音響)については、音響事業者の皆さんにも資金的な援助も含めてフォローしてほしいと思う。
 - ・国家検定試験の受検者が増えても、会場費や音響機材費、試験官への手当などが赤字になってしまうのはおかしい。行政や各都道府県の職業能力開発協会にはもっと現状を理解し協力してほしい。受検者のレベルも低くなっているので、業界全体で盛り上げる必要がある。また、特ラ機構の技術賞に関連して、ワイヤレスマイクの仕込み方やケアなどのテクニックを会員から募集し、『特ラ機構レポート』で紹介するのはどうだろうか。
 - ・個人的な話で恐縮だが、以前にかかった帯状疱疹が今も痛む。帯状疱疹はワクチンの接種も大切だが、症状が出た際には一刻も早く適切な治療を受けることが、その後の症状を抑えることにつながる。経験上、そのことを皆さんにお伝えしたい。
 - ・レンタル業務は通常に戻ってきている。仕事は忙しいが、働き方改革との両立が難しい。音響の免許制に関しては、カメラマンをやっていた時代から、映像系にも資格といえるものはなかった。テレビ業界でも資格を求められることはなかったが、仕事はしていた。
 - ・イベント関係の仕事は戻ってきている。クリスマスや年越しのイベントも多い。名古屋には劇場は少ないが、ライブなどはアリーナやドームで開催されている。ここ1 か月は、人材・機材を含めて、同業者間のレンタルが増えている。新型コロナに関しては、未だ検査にひっかかるスタッフが出ている状況だ。
 - ・10 月と 11 月はバタバタしていた。ライセンス制度は音響家の地位向上に役立つと思う。特定ラジオマイクの運用数も増えている状況もあるので、うまく協力していきたい。先日、国際放送機器展に足を運んだが、放送と音響の間に“壁”があるように見える。今後、ライセンス制度を含めて、放送側とも交流を深めていきたい。
- ※ 1 技能検定とは、働くうえで身につける、または必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で、全部で 130 職種(※ 2)の試験があります。試験に合格すると合格証書が交付され、「技能士」と名乗ることができます。
- ※ 2 都道府県が実施する職種：110 職種 / 指定試験機関が実施する職種：20 職種

次回理事会(予定)

日 時 : 令和 5 年 2 月 1 日(水) 15:00 ~ 17:00
場 所 : 中野サンプラザ 15 階 リーフールーム

運用連絡と調整の総件数

2022 年 10 月～ 11 月

理事会資料 R4-4-01a

1. 最新の運用連絡・調整の総件数

各年度 月別運用連絡・調整総件数表

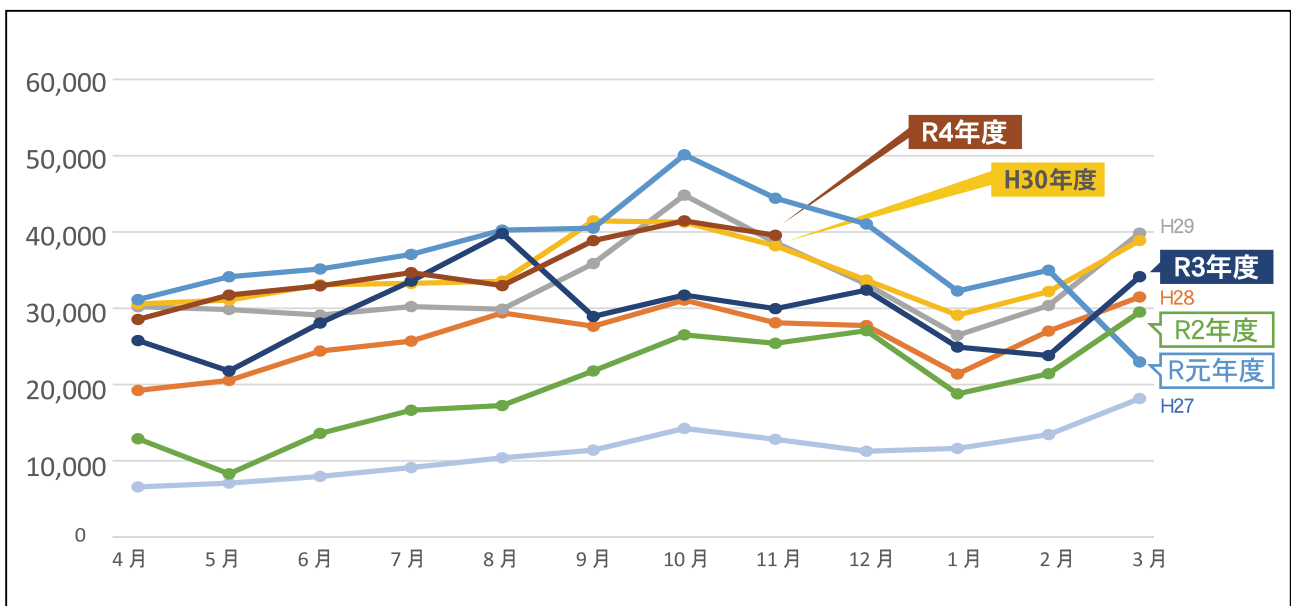
※ 2017 年 4 月から 2019 年 11 月までのデータは 2019 年 12 月 2 日時点で再集計

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	月平均
27 年度	6,412	6,913	7,797	8,969	10,260	11,271	14,135	12,704	11,130	11,499	13,329	18,092	132,511	11,043
28 年度	19,161	20,485	24,364	25,677	29,417	27,646	31,100	28,105	27,738	21,327	27,008	31,517	313,545	26,129
29 年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30 年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R 元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2 年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	26,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3 年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4 年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666						35,156

前年との差 +2,789 +10,039 +4,923 +1,123 -6,879 +10,025 +9,814 +9,696

(2022 年 4 ～ 11 月の月平均)

各年度月別運用連絡・調整の総件数の推移



(1) 2 ヶ月間の総件数を比較

	2022 年 8 月～ 9 月	2022 年 10 月～ 11 月
前年	68,834	61,728
当年	71,980	81,238
増減	+3,146	+19,510

(2) 1 ヶ月間の受信数を比較

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	2023 年 1 月	2 月	3 月
前年	12,118	10,396	12,929	14,358	12,593	11,560	14,734	14,594				
当年	13,023	14,383	14,801	15,274	14,367	16,003	18,061	17,533				
増減	+905	+3,987	+1,872	+916	+1,774	+4,443	+3,327	+2,939	+0	+0	+0	+0

2. 前年（2021年10月～11月）と当期（2022年10月～11月）の運用連絡（受信）・調整（送信）件数を比較する

（1）2ヶ月間ごとの運用連絡・調整の総件数

「第7波」も去り、10月に入り落ち着きを取り戻していた全国の感染者数は、10月末までは10月26日を除き多くても4万人台だったが、「第8波」が到来した11月中旬以降には10万人を超え、死亡も100人を上回る日が続いている。新型コロナ水際対策では、10月11日から入国者数の上限が撤廃されるなど大幅に緩和され、コロナ禍前の状態に戻っている。今後とも、現在実施している感染防止対策を徹底し、感染拡大を防ぐことが大切だと思う。

このような状況の中、10～11月の運用連絡・調整の総件数は、前年に比べ**19,510件増**となった。

（2）1ヶ月単位での運用連絡受信数と調整送信数を含めた総件数の推移から、

令和4年10月～11月を振り返る

この期間の受信数をコロナ禍前の令和元年と比較すると、10月は令和元年の18,593件から**約2.86%減の18,061件**と微弱、11月も**約4.75%減の17,533件**に留めている。また、総件数の折れ線グラフを見ると、10月・11月ともにコロナ禍前の平成30年のグラフに重なり、上回っていることが分かる。

今回の理事会までに12月から1月末までの受信数がどのように推移していくかは未知数だが、昨今の運用連絡件数が増加傾向を示しているという実感もあり、期待して待つことにしたい。

（3）受信・送信2ヶ月間の比較

(3) 受信・送信 2ヶ月間の比較			
令和元年度 2019年(10月～11月)	令和2年度 2020年(10月～11月)	令和3年度 2021年(10月～11月)	当期 2022年(10月～11月)
受信数 37,000	受信数 25,109	受信数 29,328	受信数 35,594
送信数 57,867	送信数 26,789	送信数 32,400	送信数 45,644
計 94,867	計 51,898	計 61,728	計 81,238
比率(送信/受信) 1.56	比率(送信/受信) 1.07	比率(送信/受信) 1.11	比率(送信/受信) 1.28

運用連絡【受信数】を見ると、10月～11月は前年の29,328件に対し当期は35,594件で、**6,266件増加**した。

【連絡数に対する調整数の比率】は、前年の1.11倍から**1.28倍に上昇**した。

3. 各年度の月別運用連絡・調整総件数の比較から、コロナ禍での影響を見る

各年度月別運用連絡・調整総件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
29年度	30,228	29,853	29,120	30,245	29,898	35,928	44,971	38,701	33,207	26,443	30,385	39,939	398,918	33,243
30年度	30,589	31,104	33,135	33,311	33,597	41,578	41,380	38,279	33,744	29,109	32,231	38,981	417,038	34,753
R元年度	31,172	34,184	35,213	37,136	40,348	40,598	50,306	44,561	41,152	32,302	35,054	22,921	444,947	37,079
R2年度	12,780	8,139	13,485	16,543	17,164	21,739	28,511	25,387	27,059	18,711	21,369	29,520	238,407	19,867
R3年度	25,753	21,727	28,067	33,609	39,896	28,938	31,758	29,970	32,419	24,898	23,774	34,194	355,003	29,584
R4年度	28,542	31,766	32,990	34,732	33,017	38,963	41,572	39,666	1.20倍	1.33倍	1.11倍	1.16倍		
前年比	1.11倍	1.46倍	1.18倍	1.03倍	0.83倍	1.35倍	1.31倍	1.32倍					+116,596	+9,717

2020年度と2021年度の比較	
1年間の合計	1ヶ月の平均
R2年度 238,407	19,867
R3年度 355,003	29,584
増減 116,596件増	9,717件増

4. 特定ラジオマイクが運用された主なイベント（令和4年 10 月～ 11 月）

イベント名	日 程	施 設	運用 社数	ブース数	マイク・イヤモニ			計
					TVWS	711-714	1.2GHz	
第 49 回 国際福祉機器展	10 月 5 日～ 7 日	東京ビッグサイト東棟	10	15	11	2	38	51
CEATEC 2022	10 月 18 日～ 21 日	幕張メッセ	14	16+2	31	0	35	66
ビューティワールドジャパン大阪	10 月 24 日～ 26 日	インテックス大阪	10	17	18	7	39	64
第 31 回 日本国際工作機械見本市 JIMTOF 2022	11 月 8 日～ 13 日	東京ビッグサイト東棟	15	20	41	6	29	76
Inter BEE 2022	11 月 16 日～ 18 日	幕張メッセ	12	13	33	0	19	52
IGAS 2022 国際総合印刷テクノロジー &ソリューション展	11 月 24 日～ 28 日	東京ビッグサイト東棟	12	14	38	8	39	85

【周波数配分】

令和 4 年 10 月 5 日(水)～ 10 月 7 日(金)、「第 49 回国際福祉機器展」（東京ビッグサイト東棟）において、1.2GHz 帯 6 社 11 ブース計 38 局の周波数配分をおこなった。

令和 4 年 10 月 18 日(火)～ 10 月 21 日(金)、「CEATEC2022」（幕張メッセ展示ホール 4～8）において、TVWS 帯 6 社 8 ブース計 31 局、1.2GHz 帯 8 社 8 ブース 2 取材の計 35 局、合計 66 局の周波数配分をおこなった。

令和 4 年 10 月 24 日(月)～ 10 月 26 日(水)、「ビューティワールドジャパン大阪」（インテックス大阪）において、1.2GHz 帯 8 社 12 ブース計 39 局の周波数配分をおこなった。

令和 4 年 11 月 8 日(火)～ 11 月 13 日(日)、「第 31 回日本国際工作機械見本市 JIMTOF 2022」（東京ビッグサイト東棟）において、TVWS 帯 7 社 9 ブース計 47 局、1.2GHz 帯 8 社 11 ブース計 29 局、合計 76 局の周波数配分をおこなった。

令和 4 年 11 月 16 日(水)～ 11 月 18 日(金)、「Inter BEE 2022」（幕張メッセ）において、TVWS 帯 8 社 9 ブース計 33 局の周波数配分をおこなった。

令和 4 年 11 月 24 日(木)～ 11 月 28 日(月)、「IGAS2022 国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展」（東京ビッグサイト東棟）において、1.2GHz 帯 8 社 8 ブース計 39 局の周波数配分をおこなった。

なお、TVWS 帯は各社の TVch が分散されていたので、周波数配分はおこなわなかった。

5. 干渉報告（令和 4 年 10 月～ 11 月）

今期、干渉報告はなかった。

新規加入会員紹介コーナー

令和4年10月～11月

関 東

● 田中 博信

会員番号 030-1135

田中 博信

入会：令和4年10月17日 移動 ゼンハイザー…4局

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-24-28 アーバンコート新宿 202

運用担当者 田中 博信

TEL 090-3232-4276 E メール hironobusound@gmail.com

● 株式会社コギトワークス

会員番号 030-1136

代表取締役 関 友彦

入会：令和4年10月18日 移動 WISYCOM…8局

〒154-0017 東京都世田谷区世田谷1-14-18 恵宅建ビル 2F

運用担当者 古谷 正志

TEL 080-3608-2616 E メール fm40@mac.com

● 株式会社 K.M.D Sound Design

会員番号 030-1137

代表取締役 小松 久明

入会：令和4年10月26日 移動 シュア…8局

〒150-0024 東京都世田谷区三軒茶屋2-55-12-607号

運用担当者 神林 大河

TEL 080-5068-5069 E メール kambayashi@kmd-sd.com

● 宇都宮駅東口交流拠点施設運営共同事業体 代表者 株式会社五光 代表取締役 木内久生（ライトキューブ宇都宮）

会員番号 030-1138

株式会社五光 代表取締役 木内 久生

入会：令和4年10月31日 固定 シュア…32局

〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20

運用担当者 村山 勝己

TEL 028-680-6186 E メール k-murayama@goko-net.jp

● 安川 恵一

会員番号 030-1139

安川 恵一

入会：令和4年11月9日 移動 シュア…8局

〒216-0041 神奈川県川崎市宮前区野川本町2-5-20-A105

運用担当者 安川 恵一

TEL 044-777-8538 E メール kei01@olive.ocn.ne.jp

● 株式会社 DrunkenBird

会員番号 030-1140

代表取締役 百々 保之

入会：令和4年11月22日 移動 WISYCOM…8局

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階

運用担当者 百々 保之

TEL 080-1687-9013 E メール drunkenbird.running@gmail.com

九 州

● 田上 敏浩

会員番号 100-0109

田上 敏浩

入会：令和4年 11 月 1 日 移動 ゼンハイザー…4局

〒 861-8037 熊本県熊本市東区長嶺西1-1- 34 ルミウス長嶺 201

運用担当者 田上 敏浩

TEL 090-3665-7080 E メール upstart104@gmail.com

【ひとこと】『アップスタート』熊本市内を拠点に音響業務を 2000 年より開業させて頂いております。

この度 WS 帯ワイヤレスの導入に至りました。混信の心配が無い運用に期待してます。

● 寺崎 誠秀

会員番号 100-0110

寺崎 誠秀

入会：令和4年 11 月 9 日 移動 ゼンハイザー…2局

〒 860-0081 熊本県熊本市中央区京町本丁6- 52 - 101

運用担当者 寺崎 誠秀

TEL 090-2087-8930 E メール terasaki0001@gmail.com



イベント情報

イベントや展示会での運用が増えてきました。

音楽系では TVWS 帯の運用が多く、展示会などでは 1.2GHz 帯の運用が中心となっています。

大規模な展示会等では周波数配分などをおこなうため、さらに余裕をもってご連絡ください。

(ブース名称などの記載をお願い致します。)

日 程	展 示 会 名	会 場
1 月 11 日～ 13 日	COSME WEEK TOKYO 2023	東京ビッグサイト
1 月 13 日～ 15 日	TOKYO AUTO SALON 2023	幕張メッセ
1 月 18 日～ 20 日	JAPAN IT WEEK 関西	インテックス大阪
1 月 25 日～ 27 日	第 15 回オートモーティブワールド	東京ビッグサイト
1 月 27 日～ 29 日	東京 e スポーツフェスタ 2023	東京ビッグサイト
2 月 1 日～ 3 日	第 22 回国際ナノテクノロジー総合展	東京ビッグサイト
2 月 10 日～ 11 日	ジャパンアミューズメントエキスポ	幕張メッセ

♪ ルールを守って クリアな運用 ♪

ちょっとブレイク原稿大募集！

皆様からの原稿をお待ちしております！今ハマっていること、お仕事のこと、大好きなアーティストのこと、ご当地自慢などなど・・・お題は自由です。

お名前を出したくない場合はペンネームでも OK です。

レポートに掲載させていただいた方には、些少ですが謝礼を差し上げております。

まずは下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。



Email : office@radiomic.org





第23回特ラ機構技術賞 作品求む!

こんな作品を募集しています!!

■映画・番組・配信などの映像作品

■演劇・音楽・イベントなどの舞台作品

応募作品例:「ボランティアスタッフによるイベント・舞台公演」

「多数のマイクを使用する演目のPAや収録の工夫」

「良い音を収録するためのラベリア Mic 仕込テクニック」

「新しいシステムを活用したPAや収録」・・・etc

詳細は特ラ機構 Web サイトをご覧ください

<https://www.radiomic.org/Dwnld/info/2023gijutsu-sho.pdf>



地上デジタル放送の高度化(4K・8K)に向けた電波発射について

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（A-PAB）では、地上デジタル放送の高度化に向けて、東京・名古屋・三重・大阪・福岡地区において実証実験に関わる電波発射を実施してきましたが、2022年12月末をもって大阪・福岡地区の実証実験は終了いたしました。長きにわたり会員の皆様のご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

2023年1月以降も東京・名古屋・三重地区においては、引き続き実証実験に関わる電波発射を計画しており、下記のとおり1月の電波発射スケジュールをお知らせいたします。

電波発射スケジュール等の変更がありましたら、改めてご連絡いたします。

< 2023年1月以降のスケジュール >

地 区	電波発射スケジュール[注1]	TV チャンネル	備 考
名古屋（東山）	1 月 16 日 ～ 1 月 20 日	UHF35ch	

[注1] 電波発射時間は、9時30分～18時00分となります。

この電波発射に伴い、日時、場所によって特定ラジオマイクの運用調整が必要となる場合があります。日程が決まりましたら、当該免許人様と個別にスケジュール確認および運用調整をさせていただきます。その際はご協力よろしくお願い致します。ご不明な点がございましたら、当機構までお問い合わせ下さい。

また、放送サービス高度化推進協会（A-PAB）の「地デジ高度化実験受信対策センター」ホームページでは、電波発射スケジュールや特定ラジオマイクとの運用調整について随時情報を更新しておりますのでご確認いただきますよう、よろしくお願い致します。

<https://www.tvkoudoka.jp/>

併せて、当機構ホームページでも「地デジ4K・8K実験試験局情報」で特定ラジオマイクに関連する情報をダイレクトにお伝えしていますのでご活用ください。

<https://www.radiomic.org/>

会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

特定ラジオマイク運用調整機構 事務局

Inter BEE 2022 報告

令和4年11月16日(水)～18日(金)、千葉市美浜区 幕張メッセにて開催された、Inter BEE2022 (国際放送機器展) を視察しました。

国内最大の放送機器関連のイベントにて、昨年に続きオンライン開催に併せてリアルでも開催されました。

今回のワイヤレス関連の展示で気になったものをご紹介します。



◎松田通商ブース

Clear Com ワイヤレスインカム (写真1)



写真2 6000 Series など



写真1 Clear Com ワイヤレスインカム

◎ゼンハイザージャパンブース

6000 Seriesなどを展示 (写真2)

光伝送システム (大型のシステムでは同軸ケーブルに代わり有効) (写真3)

EW-DX シリーズ (参考出品) (写真4)



写真3 光伝送システム



写真4 EW-DX シリーズ (参考出品)



写真5 WISYCOM



写真6 WISYCOM

◎日本テックトラストブース

WISYCOM アナログ伝送の安定度とデジタル処理のクリーンな音色、バッテリーでの長時間運用などで、高い評価を得ている。(写真5、6)
MiPRO (写真7)



写真7 MiPRO

◎ヒビノブース

Shure AXT Digital ADX5D 受信機などを展示
(写真8)



写真8 Shure AXT Digital ADX5D

◎オーディオテクニカブース

ATW-R3250 ワイヤレスインイヤモニターシステムなどを展示（写真 9）

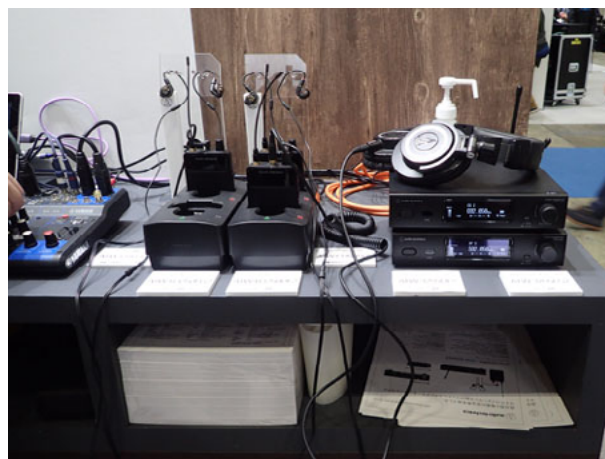


写真9 ATW-R3250

◎ SONY ブース

A 帯デジタルと並んで B 帯アナログシリーズも展示（写真 10、11）



写真 10 SONY



写真 11 SONY

◎ Panasonic ブース

1.9GHz 帯 DECT 製品を展示（写真 12）



写真 12 1.9GHz 帯 DECT



◎エムエスアイジャパン大阪ブース

米国 RF VENUE 社の垂直、水平偏波対応複合アンテナや円盤タイプのアンテナなどを展示
(写真 13、14)

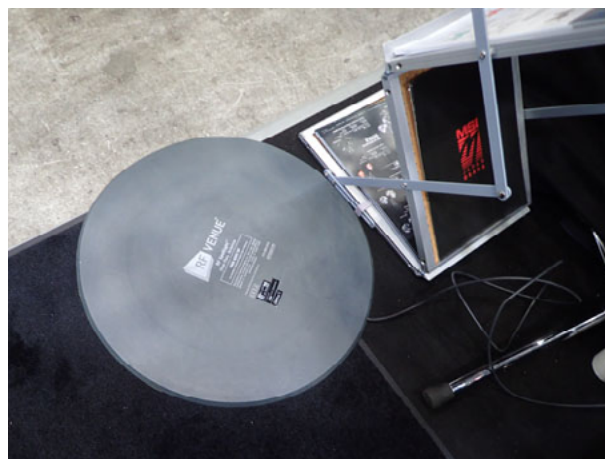


写真 13、14 RF VENUE 社のアンテナ

◎ Inter BEE フォーラム

最終日の 18 日、マイクロフォン製作者が語る「マイクロフォン開発の歴史と今後の戦略」セミナーに参加、大変有意義な時間であった。

甲田 乃次



ちょっとブレイク

「非常食 実食レポート」《後編》

自宅に備蓄している非常食の賞味期限が迫ってきていることから、本コーナーでそれらを実食レポートすることになった事務局員イシカワ。前号（189号）では非常食の中でも主食となるご飯・パン・パスタを紹介しましたが、本号では続きとして、おでん缶や総菜など副食を中心にレポートしたいと思います。

今回も電気・ガスなどライフラインが使用できない非常時を想定して、どれも常温のまま試食しました。

●おでん缶 牛すじ長期保存（天狗缶詰）

秋葉原電気街にある“自動販売機で買えるおでん”として有名となった「おでん缶」その長期保存が可能となったものがこちら。牛すじ、大根、こんにゃく & 糸こんにゃく、うずらの卵、ちくわ、さつま揚げと、お馴染みの種がひと通り入っています。

乾パンをはじめとする一般的な非常食は、長期保存の観点から水分の少ないものが多いといえますが、そんな中、非常時に汁気のあ



小さいながらも、こんにゃく、ちくわ、さつま揚げなど、お馴染みの種が入っている「おでん缶」。種に鰹の出汁が染み渡りうまい



前号に引き続いて、さまざまな非常食をレポートする。今回は副食を中心に試食してみた

るおでんがとても手軽に食べられるのはありがたいところです。

缶の蓋はイージーオープン蓋を採用しており、缶切りがなくても容易に開けることが可能。三角形のこんにゃくには長めの楊枝が刺さっていますので、箸がなくともその楊枝を使って食べることができます。



根菜を中心とした具材が甘辛く煮込まれている「筑前煮」。主食だけではなく、このような副食があるとバランスのとれた食事になりそう



意外にも具沢山だった「豚汁」。非常時の野菜不足も補えそうだが、汁はもう少し多い方がよいかもしれない

おでんの汁は鰹の風味が漂うやや濃い目の味付け。一口サイズの各具材にはしっかり味が染みていて、今回は常温のままでしたが、冷えていても美味しく頂けました。さすがに牛すじは「いかにも缶詰の肉」といった感じでしたが、よく味の染みた大根は、普通のおでんと遜色ない味わいでした。

自宅でお酒を呑もうとしたらツマミがない、そんな“非常時”にも役立ちそうな一品です。

●美味しい防災食 筑前煮（アルファフーズ）

「美味しい防災食 筑前煮」は、長期保存の新技术 UAA（ウルトラアンチエイジング）製法で作ったという、レトルトパウチ食品の筑前煮です。「できたてのおいしさをそのまま閉じ込めた」とのことで、味にはとても期待が持てそうです。

パッケージを開ければ、そのまま食べることができます。皿にあけてみたところ、ちょうど一人前という分量。具材は、鶏肉、人参、たけのこ、れんこん、蒟蒻、牛蒡が入っています。

早速、食べてみると、鰹ベースのやや濃い目の甘辛い汁が具材にしっかりと沁みてい



5年間の長期保存ができること以外は、通常の野菜ジュースとまったく変わらない「野菜一日これ一本」。甘みもあって飲みやすい

て、冷えていても十分美味しく食べることができました。普通に売られている惣菜と同じような美味しさといっても過言ではありません。

濃い目の味付けとなっておりますので、白飯と一緒に食べれば、ご飯がどんどん進んでしまいそうです。

●美味しい防災食 豚汁（アルファフーズ）

先に紹介した筑前煮と同様に、“UAA 製法”で作られた長期保存可能な「豚汁」です。パッケージの封を切るだけで、そのまま食べることができます。

お椀にあけたところ、想像以上に具沢山。ごぼう、人参、里芋、油揚げがザクザク入っており、非常時に不足しがちな野菜も補給できそうです。その一方で、汁はやや少ないかなという印象。味噌の風味は弱めで、塩気も控え目といった感じです。

豚汁ながら豚肉は少なめ。ただ、常温では脂身は白く固まっておりビミョーな感じですから、少なめでよいのかもしれませんが。

防災食としては、美味しい一品といえるでしょう。



個別包装になっていて食べやすい「えいようかん」。食べきりサイズとなっており、1本食べるとちょうど満足できる

●長期保存用 野菜一日これ一本（カゴメ）

コンパクトなコーヒー缶サイズの長期保存可能な野菜ジュースです。にんじん、トマト、かぼちゃ、ほうれん草など 30 品目の野菜が 350g 分濃縮されており、これは 1 日の野菜摂取目標量にあたるということです。

実際に飲んでみると、味としては普通の野菜ジュースと遜色はなく、甘さも感じて美味しく頂けます。少々ドロリとしており、いかにも濃厚です。

災害時には野菜不足になることが容易に想像できますから、余裕があれば備えておきたいところです。

●えいようかん（井村屋）

肉まんなどで有名な井村屋製の羊羹。「保存用」というだけあって、保存期間は 5 年 6 か月となっています。コンパクトながらもズシリと重みのある箱に、食べきりサイズの羊羹が 5 本入っています。個別包装となっており、手を汚さず食べやすくなっているのはうれしいところです。

試食してみると、羊羹自体は弾力があり、



小さくてかさばらない「カロリーメイト ロングライフ」。デスクの引き出しに入れておけば、イザという時に役立つかも

庶民的な練り羊羹といった感じ。一口目は甘さがやや控えめかなとも感じましたが、食べ終わるころには十分満足できました。

災害時の疲れた身体には、羊羹のような甘いものがありがたく感じることでしょう。もちろん、カロリー（1本あたり 171kcal）もしっかり取れます。

●カロリーメイト ロングライフ チョコレート味（大塚製薬）

「バランス栄養食」というキャッチフレーズでおなじみのカロリーメイト。11 種類のビタミンと 4 種類のミネラル、タンパク質、脂質、糖質を手軽に補給できるのがウリの一品です。非常用持ち出し袋に入れても邪魔にならないコンパクトな箱に 2 本入っており、1本当たりのカロリーは 100kcal となっています。

賞味期限について、通常のカロリーメイトは 1 年ですが、こちらの「ロングライフ」は 3 年です。通常タイプと比べて 3 倍の賞味期限がありますが、その他の一般的な非常食は 5 年程度が多いため、他のものと一緒に保存していると、うっかり賞味期限が切れてしま

うので注意が必要です。

今回はチョコレート味を頂きましたが、味としては通常のカロリーメイトとほぼ同じという印象。チョコレート味といっても甘さはかなり控えめといえるでしょう。食べると口の中の水分がすべてもっていかれますから、

水が飲めないような状況下では、少しばかり食べにくいかもしれません。

・・・・・・・・・・・・・・・・

今回、非常食をあれこれ試食してみました
が、どれも厳しい環境で食されることを想定
して、調理の手間を極力省き、常温のまま

非常食 スペック表				
メーカー		天狗缶詰	アルファフーズ	アルファフーズ
品名		おでん缶 牛すじ 大根入り 長期保存	美味しい防災食 筑前煮	美味しい防災食 豚汁
実勢価格（税込）※		378 円	450 円	423 円
賞味期限		5 年 6 か月	5 年 7 か月	5 年 7 か月
内容量		280g	90g	180g
カロリー		122kcal	70kcal	93kcal
調理法・調理時間		温める、又はその まま	湯せん（7～8分）、 又はそのまま	湯せん（7～8分）、 又はそのまま
石川の 評価	味	★★★★	★★★★	★★★
	コスト	★★★	★★	★★
	サイズ	★★★★	★★★★	★★★★

※令和 4 年 12 月、複数のインターネット通販サイトにて調査

も美味しく食べられるよう様々な工夫がされていきました。これらを備えておけば、非常時でも幾らか普段の食事に近いものが食べられるといえるでしょう。

ただ「冷や飯である」という現実の前にはひれ伏すほかはなく、お湯を沸かすことがで

き、加熱することができるのであれば、非常食をよりおいしく食べられるのではないかと感じました。

余裕があれば、カセットコンロや十分なガスボンベなども備えておきたいところですね。

(事務局／石川来夢)

  			非常食 スペック表	
カゴメ	井村屋	大塚製薬	メーカー	
野菜一日これ一本 長期保存用	えいようかん	カロリーメイト ロ ングライフ チョコ レート味	品名	
200 円	648 円	151 円	実勢価格（税込）※	
5 年 6 か月	5 年 6 か月	3 年	賞味期限	
190g	60g × 5 本	20g × 2 本	内容量	
77kcal	171kcal(1 本あたり)	100kcal(1 本あたり)	カロリー	
そのまま	そのまま	そのまま	調理法・調理時間	
★★★★★	★★★★★	★★★★★	味	石川の 評価
★★★★	★★★★	★★★★★	コスト	
★★★★★	★★★★★	★★★★★	サイズ	

※令和 4 年 12 月、複数のインターネット通販サイトにて調査



事務局員 年頭挨拶

謹んで新春のご祝詞を申し上げます。

イベントや舞台に大きな影響を与えたコロナ禍は未だ終息しませんが、運用連絡数はコロナ禍以前に戻りつつあります。やり残した事に後ろ髪ひかれつつも、瞬きする間に過ぎていく1年ですが、可能な限りの会員支援に努力していく機構の運営主旨は本年も変わりなく遂行して参ります。

皆様のご健勝とご清栄を祈りつつ、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

木村 和子

謹んで新春のお慶びを申し上げます

世界的に予断を許さない状況が続いております。それでも国内ではイベントや舞台、コンサートなども開催されるようになり、事務局内で運用連絡票の処理や免許申請の対応をしておりますと、日々の対応件数の増加に“回復”を実感しているところです。

今年も気を引き締めて、運用調整・その他支援業務に努めてまいりたいと存じます。

石川 来夢

今年もよろしくお願い致します。

今年度は早いもので、2014年の周波数移行から足掛け10年の節目を迎えます、その間には、色々な事が起きましたが、基本は一枚、一枚の運用連絡票の積み重ねだと肝に命じて日々精進したいと考えております。

今年もご支援、ご鞭撻の程 よろしくお願い申し上げます。

甲田 乃次

新年明けましておめでとうございます。

戦争やコロナが無くなり平和な1年になりますように。

今年も宜しく願いいたします。

松崎 由紀

新年明けましておめでとうございます。

免許関連、特ラ機構技術賞、Web サイト Twitter の管理を主に担当しております。今年も皆さまのお役に立てるよう努力してまいります。

渡辺 聖尚

あけましておめでとうございます。

昨年4月に入局してから半年以上が経過し、運用調整をはじめとする日々の業務も身についてきました。引き続き知識を深めつつ、皆さまのお役に立てるよう励んでまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

小西 咲絵

明けましておめでとうございます。

当機構で運用連絡調整、システム環境整備を担当しており、入局後、約半年が過ぎますが、昨年はいろいろと覚えることが多く、習得の年でした。

本年はより確かなサービスとサポートの提供に努めてまいりますので、引き続き変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。

まだまだコロナ禍の影響が懸念され何かと不自由な状況ですが、皆様におかれましては健康で穏やかな毎日をお過ごしいただき、より良い年となることを心よりお祈りいたします。

田口 斉

新年のご挨拶

すばらしい一年になりますよう心からお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

吉田 ひであき



重要なお知らせ



土日、祭日、深夜などの運用連絡にご注意下さい

運用連絡票のご提出に関しまして、日曜、祭日、深夜などの時間外での連絡が増えていきます。

特に多いのが、金曜日、土曜日の夜間連絡で、次の日の朝からの運用であったり、日曜日早朝の連絡で、同日曜日中の運用などです。

事務局と致しましても、土曜日の入力作業をはじめとし、連休中などの入力作業の対応もおこなっておりますが、業務時間外での連絡は運用直前の案件も増えているため、混信や干渉事故も危惧されますので、早めの連絡にご協力お願いします。

メール件名に運用日の記載をお願いします。

新型コロナウイルス、第7波以降の経済活動の増大などにより、急ぎの現場案件が増えております。

その対策と致しまして運用連絡票をお送り頂くメールの件名には、「1/10～運用」などと、運用日が分かるようご記入下さい。

事務局便り



■当機構へ再免許申請（免許更新）をご依頼頂いた皆様へ

令和 5 年 5 月末日に失効する、特定ラジオマイク無線局の再免許申請（免許更新）を当機構へご依頼頂いた会員様につきまして、有効期間が延長された新しい免許状は、令和 5 年 5 月下旬に運用ご担当へ郵送致します。

事務局免許担当／石川・渡辺聖尚

■令和 4 年度機構関係費用のお振込みをお願いします。

令和 4 年度決算期日が間近になりました。毎年のお願いですが、機構関係費用が未納の会員社はお振込みをお願いします。前年度よりの未納がある場合は併せてお振込みをお願いします。



事務局便り



特ラ機構 SNS でも情報発信中！

☆ YouTube

チャンネルを開設しました。

動画を通して、技術的な情報、広報活動を更に解りやすくお伝えしていきます。

動画へのアクセスは

特ラ機構 YouTube

🔍 検索

☆ Twitter

リアルタイムなお知らせや連休などの営業情報をアップしていきます。

Twitter へのアクセスは

特ラ機構 Twitter

🔍 検索

どちらもフォロー頂ければ幸いです。

コメントなどでご質問やご要望など頂ければ、お答えして参りますのでご活用下さい。

編集後記

11/20 ～ 12/18 にかけてカタールで開催された「2022 FIFA ワールドカップ」、皆さんは御覧になりましたか？格上の強豪チームと激闘の末、残念ながら悲願のベスト 8 にはあと一步届きませんでした。森保ジャパン、強かったですね！流れを変えた堂安律の同点ゴール、角度のないところからの浅野拓磨の決勝ゴール、VAR 判定で僅かに数ミリ残っていた三笥薫の執念のクロスからの田中碧のゴール、前田大然が押し込んだ先制ゴールなどなど・・・どれも印象に残るゴールシーンばかりでした。素晴らしい選手



が沢山いますが、私のイチオシはイナズマ純也こと伊東純也選手です。数々のナイスアシスト、ブラボー！でした。経済効果も大きく、本田圭佑元日本代表の解説が面白いと評判だった「ABEMA」を運営している会社の株価が上昇したと話題でした。明るい話題で 2022 年を締め括ることが出来て良かったです。終わり良ければすべて良し、ですね♪ 2023 年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

(松崎)